

平成24年

第3回防府市議会定例会

一般質問

6月13日（4人）

大田 雄二郎・山田 耕治・木村 一彦・山根 祐二

6月14日（4人）

行重 延昭・高砂 朋子・重川 恭年・山下 和明

6月15日（3人）

中林 堅造・田中 健次・山本 久江

6月18日（3人）

土井 章・三原 昭治・松村 学

No.	1	大田 雄二郎
質問事項		要 旨
1. 小学校の通学路で緊急安全点検について	<p>(1) 文部科学省、国土交通省、警察庁は、5月28日に、全公立小学校で8月末までに、通学路で危険な場所を調査する方針を決めたことについて</p> <p>(2) 華城小学校と桑山中学校の通学路で、危険な場所の調査と、市道三田尻西浦線等について</p> <p>(3) 石が口から伊佐江を通過、植松の青果市場へ計画されている市道天神前植松線の早期供用開始について</p>	
2. 小・中学校等の耐震化工事等の完成時期について	<p>(1) 右田小学校と桑山中学校の改築（建替）工事が平成25年度以後着工、27年度完成について</p> <p>(2) 平成27年度末までに耐震化工事が完成する小・中学校等について</p> <p>(3) 平成28年度以後に耐震化工事が完成する小・中学校等について</p>	
3. 野島の活性化について	<p>(1) 茜島シーサイドスクール事業の継続と、保護者負担軽減のため、渡船通学に係る費用の無料化について</p> <p>(2) 野島海水浴場に日陰設置と設備整備について</p>	
4. スポーツセンタープールは、屋内温水プールについて	<p>(1) スポーツセンタープールは、平成26年完成予定。今は、屋内温水プールが主流について</p>	

No.	2	山田 耕治	
質 問 事 項			要 旨
<p>1. 職員のメンタルヘルス対応について</p> <p>2. 防府市の環境整備と循環型社会形成について</p>			<p>(1) 防府市の庁内職員を対象に、アンケート調査を行ったことがあるのか？</p> <p>(2) 一般職員を対象としたメンタルヘルス教育・研修会の状況は？</p> <p>(3) 専門職などによるメンタルヘルス相談窓口体制は？</p> <p>(4) 防府市の健康管理計画を策定すべきと考えるが如何か？</p> <p>(1) ごみゼロ社会を形成していく必要がある中で、ごみの減量化と資源化施策も取り組んでいますが、具体的な効果をどのように分析されているのか？</p> <p>(2) 市民を巻き込んだ具体的な取り組みを、今後どのように進めて行こうとしているのか？</p>

No.	3	木村 一彦
質 問 事 項		要 旨
<p>1. 生活公共交通について</p> <p>2. 公務の民間化・市場化について</p> <p>3. 津波対策について</p>	<p>(1) 調査結果に基づく具体的推進方策について</p> <p>(1) 指定管理者制度、公益法人改革等について</p> <p>(1) ハザードマップの作成、避難対策等について</p>	

No.	4	山根 祐二	
質 問 事 項			要 旨
<p>1. 孤立死防止対策について</p> <p>2. 公共交通について</p> <p>3. 被災者支援システム導入後について</p>	<p>(1) 高齢者単独世帯、障害者単独世帯、生活困窮者世帯、どのように把握しているか、また、民生児童委員の訪問状況を伺う。</p> <p>(2) 高齢者単独世帯の安否確認は、どうしているか。</p> <p>(3) 新聞配達員、電気、ガス、水道の検針員との連携は取れないか。</p> <p>(1) 高齢者運転免許証返納者人数の推移はどうか。</p> <p>(2) 予約型乗合タクシー運行開始してはどうか。</p> <p>(1) 被災者支援システムを導入に至った経緯を伺う。</p> <p>(2) システム導入の手順、また進捗状況はどうか。</p> <p>(3) 導入完了後の保守について伺う。</p>		

No.	5	行重 延昭
質 問 事 項		要 旨
<p>1. 農業振興について</p> <p>2. 都市計画の線引きについて</p>	<p>(1) 土地改良区への補助金は、各土地改良区の事業実態に応じて補助すべきではないか。</p> <p>(2) 防府市農業公社のこれからの運営については、防府市の農業振興政策に沿った事業展開になっているか。</p> <p>(1) 市街化区域の都市計画税の歳出は、何に重点的に支出されているのか。(区域内の生活道路整備に重きをおくべきと思うが)</p> <p>(2) 調整区域開発許可要件が緩和されたが、このままでは市街化区域内の空洞化が進むばかりである、見直してはどうか。</p>	

No.	6	高砂 朋子	
質 問 事 項			要 旨
1. 公共施設の将来のあるべき姿について	<p>(1) 高度成長期に整備された公共施設の老朽化への対応が迫られると同時に、少子高齢化、人口減少が予想される中で、公共施設の将来のあるべき姿を、どのように考えておられるのか。</p> <p>(2) 「防府市公共施設白書」を作成し、将来を見据えた「選択と集中」で、公共施設を整備、更新していくべきではないか。</p> <p>(3) 新たな健康福祉総合施設を建設することについて</p>		
2. 市立図書館の充実について	<p>(1) 移動図書館車「わっしょい文庫」の運行状況と今後の取り組みについて</p> <p>(2) 市立図書館利便性向上の対策について  ①Webサイト上での貸出延長手続き  ②図書返却BOXの増設  ③読書履歴を知りたい方へのサービス</p> <p>(3) 各公民館に設置されている地域文庫の活用状況について</p>		
3. 高齢者福祉の充実について	<p>(1) 認知症の方やその家族の支援充実のための対策について</p> <p>(2) 高齢者虐待の現状と対策について</p>		

No.	7	重川 恭年	
質 問 事 項			要 旨
		<p>1. 市道管理と交通安全対策について</p>	<p>(1) 市内には、現在、市道認定されている路線が相当数あり、その距離もかなりのものになると考えられる。</p> <p>    この管理不十分と見受けられる箇所が、最近目に付くが、管理体制はどのようなになっているのか。</p> <p>    併せて、これが、交通事故につながるのではないかと危惧しているが、如何か。</p>

No.	8	山下 和明
質 問 事 項		要 旨
<p>1. 防災力の向上と減災対策について</p> <p>2. 障害者の就労支援について</p>	<p>(1) 防災士の育成について</p> <p>(2) 学校での防災教育と避難訓練について</p> <p>(1) 障害者の就労と工賃の実態について</p> <p>(2) 雇用支援体制の取り組みについて</p>	

No.	9	中林 堅造
質 問 事 項		要 旨
1. 行政問題について		(1) 新しいプール施設についての提言書が出されたが、内容と今後のスケジュールについて



No.	1 1	山本 久江	
質 問 事 項			要 旨
1. 自然エネルギーの導入について			1) 自然エネルギー導入に対する市の基本的な考え方と住宅用太陽光発電システム補助制度の拡充について  (2) 公共施設における自然エネルギーの活用について
2. 子育て支援について			(1) 保育料の軽減について  (2) 就学援助制度の拡充について
3. 地域における要援護者への支援強化について			(1) 要介護認定者も対象となるよう福祉タクシー制度を拡充できないか。

No.	1 2	土井 章	
質 問 事 項			要 旨
1. 緑化対策について	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 市の木「珊瑚樹」、市の花木「梅」の普及について</li> <li>(2) 街路樹に花木の採用について</li> <li>(3) 植木（庭木）の里親制度の創設について</li> <li>(4) 「防府の木百選」の創設について</li> </ul>		
2. 教育問題について	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 学校を駐車場として使用許可する基準と許可権者について</li> <li>(2) 右田小学校の改築に併せ、太陽光発電システムと雨水地下貯留槽を導入することについて</li> </ul>		
3. ロープウェイ運休（水・木曜）日の対応について	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) ロープウェイ運休日のバス運行の在り方について</li> <li>(2) 土、日曜日のバス運休について</li> <li>(3) 無料乗車証について</li> <li>(4) 山麓駅に「本日運休」表示板の設置について</li> </ul>		

No.	13	三原 昭治
質問事項		要 旨
1. 小・中学校の通学区域に関する規則違反について	(1) 防府市立小中学校通学区域に関する規則に反し、越境入学の実態を昨年の12月議会で指摘したが、その後、どのように改善されたか。	

No.	14	松村 学	
質問事項			要 旨
<p>1. 震災ガレキの受け入れについて</p> <p>2. 市民の陳情要望について</p>	<p>5月28日の市長の会見で、ガレキの輸送費や反対市民のことを考えれば、市からアクション出来ない。県と環境省が山口エコテックにアプローチすべきと消極的かつ責任転嫁のような発言をされているが、以下の点について質問する。</p> <p>(1) 3か月前の3月13日にガレキ受け入れを表明して以来、ガレキを受け入れるべく、市として、県内で一番に手をあげた市長として、現在までどのように動かされてきたのか？</p> <p>(2) 週に8トンの処理が条件ということだが、当初、総量は何トンの受け入れを想定していたのか？その費用、処分量、安全対策について、どう国や県など関係部局と確認されたのか？</p> <p>(3) すでに風評被害で苦しむ農業者もおられると聞く。一部の反対市民も大混乱する事態となったが、今後どのように対応されるのか？また、表明後、いつまでも受け入れないでは、被災地の気持ちを踏みにじる行為となってしまうと思うが、今後の市の対応は？判断のタイムリミットはいつまでと考えるのか？</p> <p>(1) 近年、市民・自治会から陳情や要望を市にしているが、何年待っても、実行されず、回答も無いとの声が非常に多い。また道路、河川、農業施設、急傾斜地など安全に維持されていない箇所もかなりあると聞くが、年次的にキチンと実行されているのか？要望と予算のバランスは？</p>		